

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



住職継職法要を勤めました 詳細は3ページ

今月の予定

7月

3日(土) 午後5時半 同行会「宗祖親鸞聖人」に聞く
法話:大谷最高顧問

13日(火)~16日(金) 盂蘭盆会
(10日よりお盆体制となり、新盆を中心にお参りに伺います。)

21日(水) 午後1時半 婦人会聞法会

24日(土) 午後1時半 定例聞法会

25日(日) 午後1時半 中央ブロック会聞法会
場所:西徳寺

8月

1日(日) 午後2時 城北ブロック会総会・聞法会
場所:西徳寺

※コロナ禍でありますので、予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。

顧問の一言

なの 名告り

「南無阿弥陀仏は誰が言い出したのか」とよく尋ねられますが、「いのち」の世界から誕生した言葉をお釈迦さまが聞き取られた言葉であります。



7月の山門の言葉

選択肢の無い 苦しみ 選択肢の有る 迷い



「今は自分の努力次第で何にでもなれる時代。昔は…」。
確かに職業や結婚、趣味に至るまで制限されることは減ったのだろう。時代を追うごとに自由な生き方が選択できるようになった。それが実現されてきた裏には、自由な選択を求めてご苦労した方々の努力に依るところが大きい。

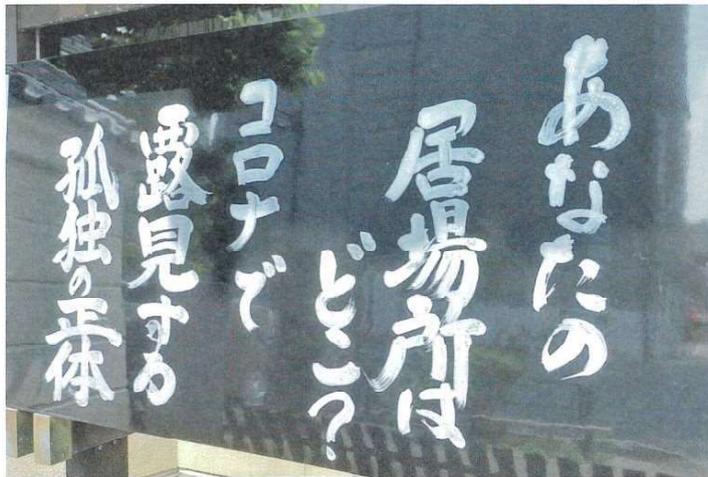
確かに、少しでも多くの選択肢の中から選び取れることは贅沢であり幸せだと思う。そしてその時々、に最善と思われるものを選び取ってゆくために、あらゆる情報を集める必要が出てくる。それが情報社会の一面なのだろう。

しかし、どの情報に間違いがないか、どれがベストなのか、それを見極めるための情報を、更に求めなければならぬ。SNSによって情報量は膨大になり、同時にその真偽の見極めが難しい中で、選んだ情報が正しかったのか間違っていたのかは、結果次第という具合だろう。

要は正しい選択のための「決め手」を求めている。それが欲しくて情報を集める。ところが集めるほどにその情報に惑わされ、決め手に欠けるのも私たちではないだろうか。結果でしか判断が付けられない私たちには当然のことである。実は私たちは選択肢の量でなく、結果に答えを求めるでもない、「これだ！」という力強い決め手を求めているのではないか。親鸞聖人は私たちに「行に迷い信に惑う」存在と見られる。つまり、決め手に欠けているがゆえに、何を信じて何をすべきなのか迷うということだろう。

決め手とは、自分が何かを選ぶための決め手ではない。どれを選択してもそこが「私の居場所」といい切れる決め手こそ、如来の救いではなからうか。

(山崎 哲)



六月に掲げた山門の言葉を、皆さんはどう聞いたのか、お尋ねしました。



みんなは
こう聞いた!!



「孤独地獄を作り出す」という言葉、賛成はしないけどいい言葉だなと思う。みんな孤独。そんなみんなと仲良くしていきたいと思う。自分の欲ばかり出さないで生きていきたいなど。
(80歳 台東区食品衛生協会会員)

時代は変わった。

コロナ禍となり、人と人との繋がりがどんなに大切かを痛感している。世の中の様々な規制により、今まで見えてこなかった人の気性が露わになって、人間関係がうまくいかなくなる。それにより孤独を感じ、更に人が離れていって孤立することも起こり得るだろう。

私は、自分をしっかりと保ち、自分の居場所を見据えるべきと思った。居場所も孤立の正体も自分次第だと考える。(50代女性 演奏家)



住職継職奉告法要

去る令和3年5月28日、午前10時より西徳寺本堂に於きまして「住職継職奉告法要」を勤修致しました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、やむを得ず人数を制限して執り行いました。責任役員会、総代会、評議員会、婦人会、竜泉西部町会会長、その他各会会長にご出席いただき、西徳寺の新たな門出を見守っていただいたように思います。

また、山崎新住職は挨拶の中で「声なき声を聞いていく事が、お寺の仕事ではないか」と、お寺の在り方を提起した上で、多くの人との「出会い」を、「縁」を、大切にしていきたいと抱負を述べられ、今後の聞法活動への指針を与えて下さいました。

最後に、新住職就任に際しましては、多くの方からのお心遣いを頂戴しましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



山崎住職挨拶



勤行



山崎住職登壇



人間国宝・大倉正之助氏



楠正憲布教使法話



集合写真

なお、この度の「住職継職奉告法要」は映像収録しておりますので、後日ご門徒の皆様にもご覧いただけます。

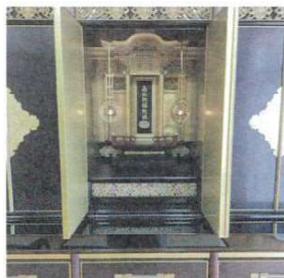
各種墓地のご案内

西徳寺では、さまざまなお要望にお応えできるよう、各種墓地をご紹介します。下記の表をご覧ください、少しでも気に入られましたら、お気軽にお尋ねください。
(下記以外にも、外墓地、永代供養等もご紹介できます。)

墓地種類	冥加金(使用料)	契約期間	納骨数	その他
一代墓地	100万円～	※ ¹ 1期10万円	3～4	※ ³ 墓石代、永代供養料含む(1体)
仏壇付納骨壇 (蓮華堂)	250万円	永代	約9	第二会館地下
仏壇付納骨壇 (第二蓮華堂)	270万円	永代	約9	第二会館二階
ロッカー形式 納骨壇(二体)	60万円	※ ² 1期7年	2	永代供養料含む、 宗旨・宗派問わず
ロッカー形式 納骨壇(一体)	50万円	※ ² 1期7年	1	永代供養料含む、 宗旨・宗派問わず
棚形式納骨壇	35万円	※ ² 1期7年	要相談	永代供養料含む、 宗旨・宗派問わず



一代墓地



仏壇付納骨壇



蓮華堂



第二蓮華堂



ロッカー形式(2体)



ロッカー形式(1体)



棚形式

【※ 種類により更新料、管理料、維持会費が必要となります。詳しくはお問合せください。】

※¹ 納骨時より10年間、最長2期(20年)まで延長可能。管理料・維持会費は契約時より発生。

※² 契約時より7年間、最長3期(21年)まで延長可能。

※³ 墓石の種類により別途費用がかかる場合あり。2体目より永代供養料(30万円/体)が必要。

皆様のご希望に添えるよう柔軟に対応させていただきます!!

お盆(盂蘭盆会)のご案内

今月13日(火)から16日(金)はお盆(盂蘭盆会)を迎えます。西徳寺では10日(土)からお盆の体制となり、新盆を始め、お盆のお参りを希望される方に、自宅や墓前、本堂にて勤めをさせていただきます。

浄土真宗ではお盆に特別なお飾りや迎え火・送り火をすることはありません。

西徳寺境内墓地にある墓石のほとんどには、「南無阿弥陀仏」もしくは「〇〇家」、それから「倶会一處」と刻まれています。「俱に一處(処)に会する」。様々な物事を分け隔てるこの私に、故人様、先祖の方々と同じく流れるいのち、この身をいただき直す期間として、手を合わせたいと思います。

※お盆期間は境内が混み合います。時節柄大変申し訳ありませんが、できるだけ公共交通機関をご利用いただき、お車でお越しの方は警備員や職員の指示に従って駐車いただきますようお願い申し上げます。

またコロナ禍でご心配の方は、どうぞ遠慮なく、日をずらしてお参りください。



燈虹塾セミナー【大谷最高顧問、吉原を大いに語る!】

江戸文化の中心地であった吉原遊郭、その燈は昭和33年3月31日に消えました。そのころ西徳寺に入寺したばかりで、よく吉原を散歩していた大谷最高顧問。当時の光景を、語っていただきました。

当時は平屋建てばかりで遮るものはなく、本堂から吉原の燈が見え、その明るさは、なんと後樂園球場の3階席からも確認できたそうです。

また、歌舞伎役者・中村家との関わり、遊女についても話題に上り、参加者のみな様と話に花を咲かせました。

〈お話を伺って〉

お寺という場所は様々な方が集まる、不思議な場所だということ。そして、燈虹塾はただ昔話を聞くだけでなく、江戸文化を通して私自身を学ぶ会。だから燈虹塾は西徳寺で開かれているのだと感じました。

次回は7月7日(水)、吉原遊郭を題材にした作品を作られた現役武蔵野美術大学・女子学生よりお話を伺います。ご興味のある方は、ぜひお寺までお問合せください。(事務局 高橋)



大谷義博師



パネリストの燈虹塾理事



昭和36年の写真を見ながら語っていただきました



お話の様子はオンライン配信されました



坊さんのツブヤッター

@ハウシュウ



高校生の時、「脂肪肝」と医者に宣告され早20年が経った。今も変わらず大事に？育てている肝臓。のらりくらりと誤魔化してきたが、40を目前にそろそろ真剣に自分の身体のことを考えないと、と思う今日この頃。長生きすることが全てではないが、親を縁としていただいたこの命、大事にしないとなあ。

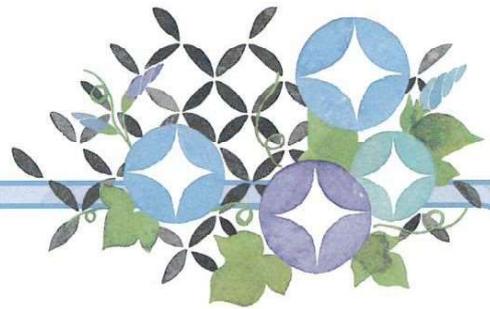
#せめて子供が成人するまでは #ご飯が美味しいんだもの
#正座が辛い #簡単ダイエット法募集中 #自分だけの身体じゃないんだから

えこお志お礼

長崎県 正覚寺 様

千葉県 西岡 民恵 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



内愚外賢

巻頭フォト・報告にもありましたように、先日、山崎住職継職奉告法要をお勤めいたしました。本来であれば、法要に続き祝賀会を開催するところですが、昨今の新型コロナウイルス蔓延防止のため、今回は法要のみ勤め、開催日は未定ですが、いずれ感染状況が落ち着いてから、盛大に祝賀会を開催する予定であります。その際はみな様と共に、よろこびの盃を交わしたいと、切に願っております。

先日、教育テレビを観ていると、「あしたにたねをまこう」という言葉が映り、思わず涙が出そうになりました。私たちは親や先祖、先人から種をまいてもらい、そして未来へ種をまく、その連続するいのちを覚えてもらったように思います。
(仲井 真裕 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook